

秋 2009 号

おおた文化の森

「森が、
彩づく」

特集

2009「文化の森収穫祭」11月15日(日) ～みんなでワッショイ楽しもう～



「大田文化の森収穫祭」は、今年で8回目を迎えました。11月15日(日)に開催いたします。大田文化の森運営協議会が発足したのは、平成13年の秋でしたので、本年度は9年目の年になります。区民の皆様の文化活動支援組織として、軌道に乗ってきました。大田区の基本計画「おおたプラン2015」の理念に基づき、常に、公開性・公平性・透明性をモットーとして、運営してきました。運営は大田区長より委嘱された15名(現在は12名)の委員が中心となって活動してきましたが、この組織が拡大発展・安定化したのは、「文化プレーヤー(ボランティア)制度」の確立にあったと思われます。

区民より登録された文化ボランティアの方々(現在約200名)を、9つの実行委員会それぞれに参加していただき、企画の立案・実施を自主的に行ったり、また、フリーの立場で、活動スタッフとして得意分野での積極的な参加で、運営協議会活動を支援していただいたお陰です。運営委員と文化プレーヤーの連携こそが、一番大切なことと痛感しています。

運営協議会のビッグイベントとして、4大企画があります。春の「文化の森フォーラム」、夏の「文化の森夏祭り」、秋の「文化の森収穫祭」、冬の「文化の森フェスタ」です。特に表題の「文化の森収穫祭」は、最大の祭りであり、文化の森で文化活動をされてきた個人・団体を含めた、運営協議会文化活動の発表の場と位置づけしています。

本年度の「収穫祭」に向け、実行委員会をスタートさせましたが、区民一般の方々の参画ができるように、自主参加の呼びかけを行っていますので、皆様の積極的なご参加をお待ちしています。区民の文化活動支援の拠点として利用できるような「みのりの収穫祭」としたいと思っています。

プログラムにつきましては、実施内容を確定次第、区報およびその他の方法で広報いたします。概要としましては、歌と演奏・踊り・ショー・ワークショップ・模擬店・地域団体の活動報告の展示・ふれあいギャラリー作品展示等ですが、本年度は、目玉企画として「子ども向けの楽しい催し物」を検討中です。ご期待ください。

「文化の森」は、区民が学び、演じ、交流を図る文化創造の拠点としての役割を果たすため、

特集

2009「文化の森収穫祭」11月15日(日) ～みんなでワッショイ楽しもう～

11月15日に開催される2009「文化の森収穫祭」開催のお知らせです。

大好評の「文化の森シネマ館」 “皆さんが育ててください”

大好評の文化の森シネマ館のお知らせです。第三回には「ラストゲーム 最後の早慶戦」です。

読み応えのあるコラムが自慢

大田の顔キラリ

今回は六郷とんぼの会 会長吉田恒男さんです。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

学シリーズ 学校

新シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材します。今回は大田区立入新井第一小学校です。

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は李節子さんの活動を紹介します。

運営協議会は日夜努力していく所存です。皆様の絶大なるご協力を心よりお願い申し上げます。

運営協議会会長 青柳 博之

大好評の「文化の森シネマ館」 “皆さんが育ててください”

世界中の映画を通して「楽しみと癒しとそして希望を！」



こんなコンセプトで今年5月“開館”したばかりです。名前？ズバリ「文化の森シネマ館」。料金？むろん「無料」です。でも会場には「定員」がありますから「抽選」となります。ご理解ください。

第1回を5月22日、ホールで開きました。ご存知、イタリア映画の名作『鉄道員』です。運転歴30年の鉄道員とその家族の喜怒哀楽を描き出した1956年の作品。“ちと古いかな”と思いきや、さにあらず、大きな大きな反響でした。

第2回目は8月8日開催の「文化の森夏祭り」にて上映。親子向けの『子ぎつねヘレン』『ハッピーフィート』の2作、とても喜んでいただきました。

第3回の9月25日は『ハチ公物語』で絶賛を浴びた、あの神山征二郎監督作品で、記憶に今も新しい『ラストゲーム～最後の早慶戦～』。なんと神山監督自らが来館、舞台挨拶も。

とにかく、蒲田はキネマの本場！皆様に育てていただきたいのです。どうぞ次回からのお知らせを“お見落としなきように!!”

【今後の開催予定：11月27日(金)、1月23日(土)、3月26日(金)】

運営委員 沼本 光史

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「文化プレーヤー事業部」です。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は小池直道さんです。

第14回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森側でもあり

今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.33Web版
2009年7月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森

大田の顔 キラリ

とんび だこ 六郷の鳶凧

～とんび凧を揚げて、大空を自由に飛ばそう!～
吉田恒男さん(六郷とんび凧の会 会長)



大空に舞う鳶凧の勇姿(沼津御用邸公園にて)

大空を滑空すると鳶と見まがうばかりの凧が、六郷の空に舞う。毎年正月の行事として定着している「六郷鳶凧」の凧揚げ風景。大空を自由に飛べない私たちにとって、大きな輪を描きながら遊んでいるトビの姿は、羨ましい限りです。江戸時代の終わり頃考案されたといわれています。鳶凧作りは、戦争により衰退の一途をたどりましたが、戦後めざましい復興をしました。「こんな素晴らしい郷土の宝を、廃絶させることは残念だ。自分たちの手で作ることを考えよう」と「六郷とんび凧の会」を結成、現在も活躍されている、会の代表吉田恒男氏に「とんび凧」に関するお話を聞きました。本当に「とんび凧」を愛して活動されている同氏の心意気に感動しました。



六郷とんび凧の会 会長
吉田恒男さん

第二次大戦後、とんび凧が地元有志によって復活し「古川薬師凧の会」による凧揚げ大会が、昭和58年から安養寺(西六郷)近くの河川敷を会場として成人の日に行われるようになりました。この、本物の鳶さながらに浮かぶ鳶凧の特徴は、形へのこだわりにあります。凧絵を楽しむ角凧や奴凧と違い、鳶という鳥の形にこだわる点にあります。三角に突き出た嘴、左右の端がぴんと伸びた尾羽、大きい鳶凧の羽先表現の「羽切り」などといった特徴です。六郷で語られる鳶凧の由来については、江戸時代の終わりごろ、八幡塚村(大田区東六郷)の人が多摩川の河原でつかまえた鳶を見ながらいろいろ工夫をして作り出したといわれています。そして、凧が盛んに作られるようになった理由に、「凧の効用」が語られています。六郷川で獲った魚を河原に並べて干したところ、カラスの群れに荒らされて困った時、この鳶凧を揚げたところ、カラスが驚いて逃げ回ったことから盛んに作られるようになったということ

特集

2009「文化の森収穫祭」11月15日(日) ～みんなでワッショイ楽しもう～

11月15日に開催される2009「文化の森収穫祭」開催のお知らせです。

大好評の「文化の森シネマ館」 “皆さんが育ててください”

大好評の文化の森シネマ館のお知らせです。第三回には「ラストゲーム 最後の早慶戦」です。

読み応えのあるコラムが自慢

大田の顔 キラリ

今回は六郷とんび凧の会 会長吉田恒男さんです。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

学シリーズ 学校

新シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材します。今回は大田区立立新井第一小学校です。

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は李節子さんの活動を紹介します。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「文化プレーヤー事業部」です。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

です。カラス除けの効果の詮索はともかくとして、空高く揚げた鳶凧があたかも本物の鳶のようであって、それが人気の理由であったことをよく物語っているとの事です。写実性を意識した凧を揚げると、なぜだか本物のトンビが現れるのです。これこそ開運の瑞兆となるそうです。

今では区内の学校やPTA、郷土博物館や文化センター、児童館等で、大人も子どもも凧作りに挑戦して、自作の凧を揚げる人が増えています。六郷で作られた4間(約7m)の大凧は現在大田区立郷土博物館に、3間(約5m)の大凧は大田区役所と沼津御用邸公園に展示・保存されています。

皆さん、鳶凧を自作して、大空に揚げようではありませんか。「良い運」が開けますよ。

*資料として、大田区立郷土博物館学芸員・藤塚悦司氏の記事を参考にさせていただきました。

運営委員 青柳 博之

地域ネットワーク

10月24日(土) 第2回『大森西ふるさとまつり』を開催

入新井西地区 自治会連合会
会長 鳴嶋 享郎



第1回「大森西ふるさとまつり」

大森西地区には、平成19年に「大森ふるさとの浜辺公園」、平成20年には「大森海苔のふるさと館」という新たな地区のシンボルが誕生しました。大森西地区自治会連合会では、平成16年度まで隔年で「家族レクリエーションまつり」を開催して、地域交流促進のため各自治会・町会が一丸となって取り組んできました。しかし、会場の都合で、平成18年度以降は休止状態になっていました。

この家族祭りの代替案を検討する中で、東京都の地域の底力再生事業の助成を受けて連合会として「大森西ふるさとまつり」を実施することになりました。新たな地区のシンボルである「大森ふるさとの浜辺公園」および「大森海苔のふるさと館」を活用して、本年3月8日に自治会連合会主催によるはじめての『大森西ふるさとまつり』を開催しました。

当日は小雨も降り少し肌寒い日でしたが、大森の歴史を学ぶ船上研修会や講習会など地域性を活かし、地域の人たちや家族がふれあい楽しめる企画内容だったので、各コーナーとも予想を上回る人出となり、おまつりは活気に満ちたものとなりました。

結果として、大勢の方に「大森ふるさとの浜辺公園」を知ってもらい、また、地域の子どもから

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は小池直道さんです。

第14回 フォレストメイツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森側でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.33Web版
2009年7月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

高齢者までの世代間交流も図ることができて、大成功でした。

そして、今年度は、少し趣向を変えて第2回の『大森西ふるさとまつり』を開催することになりました。

10月24日の土曜日、10時～16時まで、「大森ふるさとの浜辺公園」で、地域の伝統芸能のおはやし囃子やししまい獅子舞、民謡などの舞台での発表イベントを中心としたおまつりです。舞台発表を通じて伝統芸能への愛着心を深め合い、伝統芸能体験や子ども遊び・模擬店

コーナーなどで地域住民の世代間交流促進を図ります。自治会・町会および各参加団体と連携・協力して、賑わいのあるおまつりとします。

これからも、地区連合会として大森西地区全体が一致団結することを目指していきたいと思っています。

学シリーズ 学校

幾つになっても、小学校や中学校のことは妙に覚えているものです。かしまった教室もそうぞうしい校庭もなつかしく甦ります。大田区の学校を、時に訪れて、希望に満ちた若い世代の営みを取材や見学させていただきましょう。そこには溢れるエネルギーと明るい未来を感じることができると思います。(編集部)



～大田区立入新井第一小学校～

大田区で一番歴史のある入新井第一小学校(大田区大森北4-6-7)は今年で134周年を迎えます。昔、大森駅近辺を『入新井』と呼んでいたことからこの名前がついたそうです。伝統ある入新井第一小学校は、桜と桐を校章のモチーフとしております。これは入新井第一小学校のルーツにあたるいわい磐井小学校と新泉小学校両校(共に明治8年創立)が、明治44年(1911)に荏原郡入新井尋常小学校として開校した時に、それぞれの校章を合わせてつくられたものです。現在の様子

を小黑仁史校長にお伺いしました。教育目標として、①健康で明るい子ども、②良く考えて行動する子ども、③進んで仕事をする子ども、④仲良く助け合う子ども、の4つを掲げています。その教育目標を達成する為に様々な特別活動を行っています。その中でも、『異学年交流～なかよし班～ 共遊び・給食』は、班という単位で上級生にはリーダー役として、下級生には面倒を見てくれる上級生への感謝と尊敬の心を育てるための取り組みで、大変感銘を受けました。また、地域との交流にも積極的で定期的に班別での校外の清掃を実施し、地域の一員であることの連帯感・地域愛と勤労奉仕の精神を育て、近隣児童相互の親しみを深めています。勉強面では、「子どもが自主的に疑問をもち、自主的に自分の考えを他のお友だちと考えることで、さらなるレベルアップを図ること」を『学び合い』と称し、教育のモットーとしています。



「伝え合い」を取り入れた授業の様子

特集

2009「文化の森収穫祭」11月15日(日) ～みんなでワッショイ楽しもう～

11月15日に開催される2009「文化の森収穫祭」開催のお知らせです。

大好評の「文化の森シネマ館」 “皆さんが育ててください”

大好評の文化の森シネマ館のお知らせです。第三回には「ラストゲーム 最後の早慶戦」です。

読み応えのあるコラムが自慢

大田の顔 キラリ

今回は六郷とんぼの会 会長吉田恒男さんです。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

学シリーズ 学校

新シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材します。今回は大田区立入新井第一小学校です。

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は李節子さんの活動を紹介します。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「文化プレーヤー事業部」です。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は小池直道さんです。

第14回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森側でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

- 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。
- ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.33Web版
2009年7月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

私も子どもを持つ親として「子どもを安心して預けることができる学校」と感じたのは、小黒校長のお話の中にあつた子どもたちの「出番と居場所」というキーワードでした。この「出番（それぞれの子どもたちが個性を活かせる機会を提供すること）と居場所（友だち・先生とのふれあい、安心できる場所の提供）」は、子どもたちがいきいきと学校生活を送るために大切なことだと思いました。

取材に伺ったときにも、小黒校長はサマースクールに参加されている真っ最中にもかかわらず、お忙しい中、時間を取っていただきました。

これからもずっと地域に根付いた子どもたちに『出番と居場所』を提供する場であって欲しいと思います。

運営委員 小池 直道

元気印 元気文化プレイヤー

共に支え合う心地よさを スポーツのステージで!



「第2回おおたユニバーサル駅伝大会」開会式(左：筆者、右：松原大田区長)

長い間、教育現場にどっぷり漬かっていた私は11年前に早期退職し、健康づくりのスペシャリストになろうと社会に飛び出しました。在日という複雑な歴史と差別という壁を背負いながらも、そんなハードルを超えて「誰もが自分らしく生きていける社会」を目指したNPO活動に出会い、2005年まで新宿区を拠点に仕事や様々な活動をしてきました。特に2000年から静岡県東伊豆町で、2002年からは新宿区にてユニバーサルスポーツイベントに関わり、様々なハンディがあってもスポーツを楽しみ、支え合うことの心地よさを参加者と共に、体験してきました。そんな中で、ふと自分の住んでいる地元を振り返ると、何も知らないことに気づき、これはいけない、と2005年には地元で講師派遣業を起こしました。貸館利用のために初めて入った大田文化の森で、まちづくり実行委員の方に出会いました。そして、2年間まちづくり活動に参加しながら仲間を集い、2008年6月には、行政、企業、団体などの支援や協力をいただき、「第1回おおたユニバーサル駅伝大会」を大田区平和島公園にて開催することができました。今年6月には第2回大会も無事終了し、多くの人たちとのネットワークを広げることができました。世界一速いスピードで高齢化が進んでいる日本で、今必要なことは、誰もが元気に自分らしく暮らしていける社会の仕組みを整えていくことです。そして、自分の良さを生かしながら人のためになる仕事や活動を生涯続けることができれば最高です。これからも文化の森からみんなで元気な活動を発信し、誰もが元気になるユニバーサル



スポーツの普及に取り組んでいきます。

文化プレイヤー 李 節子

Copyright © 2006 OTA Bunkano Mori. All rights reserved.

おおた文化の森

文化プレイヤー レポート

皆様のご協力で、今や“地元の夏の風物詩”となった「文化の森夏祭り」——。毎回ユニークな催し物でいっぱいです。その中から好評を博したイベントの“成果報告”を二人の文化プレイヤーから寄せていただきました。

■花巻(バラ)寿司に挑戦

大田文化の森が開設した当時、収穫祭で販売された花巻寿司。材料が手軽に手に入り、ヘルシーで美味しい花巻寿司は大変評判が良く、行列ができるほどの人気でした。また、各イベントの交流会等でも、2~3年間はスタッフが花巻寿司(バラ・梅)を作り好評でしたが、担当者が替わり花巻寿司は姿を消してしまいました。



親子で楽しく花巻寿司づくり

昨年頃から「文化の森で花巻寿司の作り方をぜひ教えて欲しい」という声を、区民の方から多く聞くようになり、6年ぶりに「文化の森夏祭り」で実現することができました。8月8日(土)午前・午後2回開催予定の講習会を、親子で参加する応募が多数のため、一人でも多くの皆さんに体験していただけるように、午前を1回増やし3回の講座に変更して行いました。小学生と一緒に参加された親子、お孫さんと一緒に、また小さなお子さんをおんぶされたおとうさん、でき上がった太巻寿司を輪切りにすると「バラの花模様が・・・」、その瞬間、皆さんの顔から笑顔と驚きの声があがりました。体験された多くの方から「次は花巻(梅の花)寿司講習会を開いて欲しい」という声が多く、スタッフとして協力していただいた皆さんにもお声がけて、次年度に備えたいと思っています。

文化プレイヤー 北岡三子

■子どもワークショップ『紋切り遊び』

突然の大雨に見舞われながらも、二日間延べ200人ほどの参加がありました。昨年に引き続いての担当で、反省点を踏まえ計画させていただいたので、大過なく終えることができました。



「紋切り遊び」に親も子ども真剣に挑戦!

『紋切り遊び』は紙を折って型紙通りに切り抜き、そっと開くと、そこには美しい紋が現れます。

「紋切り型」のもと江戸時代、職人が紋を描くために考えた方法。昭和初期までは図工の教科書にも取り上げられていたのですが、すっかり忘れられています(参考資料「紋切り型～豆紋」下中菜穂著より)。

下中菜穂先生のワークショップに参加してますます紋切り型にはまり、「こんどは私たちが伝える人になろう」との先生の言葉に賛同、ぜひとも子どもたちに紹介したくて、今年もワークシ

特集

2009「文化の森収穫祭」11月15日(日) ～みんなでワッショイ楽しもう～

11月15日に開催される2009「文化の森収穫祭」開催のお知らせです。

大好評の「文化の森シネマ館」 “皆さんが育ててください”

大好評の文化の森シネマ館のお知らせです。第三回には「ラストゲーム 最後の早慶戦」です。

読み応えのあるコラムが自慢

大田の顔 キラリ

今回は六郷とんぼの会 会長吉田恒男さんです。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

学シリーズ 学校

新シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材します。今回は大田区立立新井第一小学校です。

元気印 文化プレイヤー

文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレイヤー」の活動の案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレイヤー レポート

文化プレイヤーの皆さんの活動報告です。今回は李節子さんの活動を紹介します。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「文化プレイヤー事業部」です。

運営協議会委員の志

私の文化の森

ヨッポ担当になりました。

聞き慣れない言葉に困惑気味で集まった子どもたちも、出来上がった「しおり」や「ランチョンマット」に満面の笑顔。

子どもそっちのけで楽しむお父さんお母さん3。

孫に教えたいと必死でハサミを持つおばあさん。

皆さんに楽しんでいただけたようで、スタッフ一同ホッと胸をな撫でおりました。

たくさん子どもたちと触れ合えて楽しかった夏祭りでした。有難うございました。

文化プレーヤー 佐藤玲子

第14回 フォレストメーツ チクリ一筆



情報の回路を全開にして

縁あって昨年10月の「第4回 文化ボランティア全国フォーラム in東京」の大田区分科会を、お手伝いしてから「大田文化の森」にかかわるようになりました。

地域住民による組織が運営し、地域住民のための文化活動の展開という、他の文化施設から見れば理想的な運営がなされています。

ただ、その課題は、全国的な注目度に比して、地元的な関心度が十分ではないということでしょうか。今年5月の「文化の森フォーラム」の時にも、参加者から文化活動への関わり方について尋ねられました。情報の回路が十全ではないということでしょう。

特色の一つである「公募事業」に、一般住民(しかも世代別とか)も加えた公開選考などを取り入れるなど、さらに住民参加、関心喚起をしていくようなもうひと工夫があると、これまでとは違った担い手の発掘や文化活動のさらなる活性化につながるかもしれません。これも必要な情報公開あるいは情報提供に思えます。

日本教育新聞社報道部長
矢吹 正徳

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は小池直道さんです。

第14回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森側でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.33Web版
2009年7月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

実行委員会いきいき

～発信し主張し実行する～「実行委員会いきいき」シリーズ

文化プレーヤー事業部 5つのチームについて



2009文化の森フォーラム(5月16日)

「文化プレーヤー事業部」とは、「大田文化の森運営協議会」で「文化プレーヤー(ボランティア)」として活動する「文化プレーヤー」の皆さんが、活躍しやすい環境づくりを支援する事業と、また「文化の森」に興味があり、今後「文化プレーヤー」として活動してみたいという方に対して、活動の案内や紹介・相談等の支援をする事業部です。

「文化プレーヤー事業部」は、現在以下の5つのチームのそれぞれの業務とともに、チームが統合して事業部全体で担う業務を行っています。

1. 企画サポートチーム(イベントサポートや事務作業サポート)
2. 広報チーム 文化プレーヤー通信の発行
現在発行部数 250部(内、プレーヤー配布209部)
3. 記録チーム ビデオや写真撮影による取材、事務作業サポート
4. ITチーム ホームページや広報のWeb化を推進
5. サロン交流会チーム

上記以外に「文化プレーヤーの集い」「研修交流会」等の企画運営にあたっています。

運営委員 奥田 和子

運営協議会との出会い

特集

2009「文化の森収穫祭」11月15日(日) ～みんなでワッショイ楽しもう～

11月15日に開催される2009「文化の森収穫祭」開催のお知らせです。

大好評の「文化の森シネマ館」 “皆さんが育ててください”

大好評の文化の森シネマ館のお知らせです。第三回には「ラストゲーム 最後の早慶戦」です。

読み応えのあるコラムが自慢

大田の顔 キラリ

今回は六郷とんぼの会 会長吉田恒男さんです。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

学シリーズ 学校

新シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材します。今回は大田区立立新井第一小学校です。

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は李節子さんの活動を紹介します。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「文化プレーヤー事業部」です。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は小池直道さんです。

第14回 フォレストメイツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森側でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

- 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。
- ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.33Web版
2009年7月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



文化プレーヤー事業部の打合わせ風景

「大田文化の森」との関わりをもったのは、数年前の「収穫祭」の時に、自転車整理を手伝ったのがきっかけでした。運営協議会・文化プレーヤー・実行委員等については何も知りませんでした。翌年は、受付、会場整理などの手伝いをするうちに、今年には「文化プレーヤー事業部」の一員となって活動できるようになりました。

月2回の打ち合わせには、出席の皆様が、「文化プレーヤー」の方々が楽しく積極的に参加できるような企画を真剣に話し合う姿に感動いたしました。

特に、5月16日開催の「2009文化の森フォーラム」の受付を手伝う形で参加させていただきましたが、活発な発言をうかがって、文化プレーヤーさんは、ユニークな経歴を持った方々の集まりだと言う印象を受けました。

間もなく収穫祭が始まろうとしています。今回はわからぬままではなく、はっきり文化プレーヤー収穫祭実行委員として参加したいと思っています。

文化プレーヤーの皆様といっしょに、大成功を願って、楽しく仕事ができれば大変うれしく思います。

文化プレーヤー 太田 三輝男

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

小池 直道(こいけ なおみち)

大田区役所だったこの場所も、区民の文化支援施設『大田文化の森』として生まれ変わりました。

当時、私が子どものころに、祖父と通ったことをよく覚えています。

祖父は、身体障害者でしたが、障害者の活動に率先して参加しておりました。

私が運営協議会委員になったのも、自分も祖父のように地元の大田区で何か活動をしてみたいということが大きな理由でした。

文化の森で活動されている皆さんは、一生懸命に自分の特技や趣味を活かして、イベントや企画に参加していました。地域力が低下し、ご近所づきあいがなくなっているなかでも、文化の森のアットホームな雰囲気、居心地の良さを感じる事が出来ました。

その分、大田区からの委嘱を受けて、行政の仕事をしっかりこなさなければというプレッシャーもありましたし、委員の皆さんが年上の方ばかりで自分の意見を言っているのかという不安もありました。

文化の森運営協議会の役割は、文化プレーヤーさんの活動をサポートし、企画運営をしやすくするような潤滑油の役割と考えていました。委員の役割を身をもって体験し半年たった頃から、意見も十分に発言できるようになりました。

自営業の仕事を抱えての活動で、十分なお手伝いが出てくるとは思いませんが、残りの任期中に“やり遂げた”という事が少しでも多く残せるように頑張らせて頂きます。ここでの活動が自分にとってかけがえのないものである分、妥協のないようにしていきたいと思っています。

※このコーナーのタイトル文字は寄稿者の直筆によるものです。

おおた文化の森

文化の森 イベント情報 何でもあり

たくさんのイベントがどんどん開催されます。

楽しいイベントが一杯! ホール、多目的室、広場等で行われるイベント

■2009文化の森収穫祭

秋の全館イベント。“みんなでワッショイ楽しもう!”を合言葉に、ホールでは楽器演奏、合唱、舞踊、手話ダンス等、集会棟ではさまざまなワークショップ、作品展示、模擬店等、広場では踊りなどの催しがいっぱい!

□開催日時:11月15日(日)10:00~16:30 □当日会場へ

■大田ジャズフェスティバル

大田文化の森から発信するはじめての“ジャズフェスティバル”。区民から募集したジャズプレイヤーと、プロミュージシャン太田剣(アルトサクソ)も交えて素晴らしいジャズナイトを演出

□開催日:10月17日(土)17:00~21:00

□会場:大田文化の森ホール

□チケット:1,000円、500円(学生)、大田文化の森にて発売中(未就学児不可)

■大田文化の森「歌声喫茶」

1950年代~70年代にかけて、まだ、日本が貧しかった時代に心を満たしてくれた歌の数々、肩を寄せ合って歌うことで得られた充実感、そんな時代の歌声喫茶を再現し、思い出を語り歌う集い。

□開催日時:11月8日(日)13:30~16:30 □会場:5階多目的室 □参加費:500円(茶菓代) □定員:抽選で150名(16歳以上) □申込:10月26日必着

■若き日をもう一度~心にひびく歌声を

歌が好きなメンバーが集まって、10年間の練習の成果を発表する

□開催日時:11月24日(火)14:00~16:00

□会場:大田文化の森ホール □参加費:無料

□定員:200名(代表者の氏名・電話番号と同伴者名を明記。1枚4名まで可) □申込:11月10日必着

■第4回 文化の森シネマ館

6回シリーズで国内外の名作映画にご招待。アメリカ映画「陪審員」を上映

□開催日時:11月27日(金)19:00~21:00

□会場:大田文化の森ホール □参加費:無料

□定員:250名(代表者の氏名・電話番号と同伴者名を明記。1枚4名まで可) □申込:11月16日必着

■大田文化の森合唱団演奏会

1年間の練習成果を発表。来場された方々に感動を与える演奏を行うことを目指す。目標として、ロッシーニ作曲「小荘厳ミサ曲」全曲、日本の組曲では代表的な「水のいのち」全曲を演奏

□開催日時:12月19日(土)13:30~16:30

□会場:大田文化の森ホール □チケット:2,000円(当日券も同額)、大田文化の森にて10月19日10:00から発売(未就学児不可)

■大田文化の森落語会季節寄席<冬>

500円玉で楽しめる落語会「季節寄席」。出演は、中央1丁目在住の三遊亭時松(二つ目)。笑いを通して地域の活性化を図る。演目は未定

□開催日時:12月19日(土)15:00~18:00 □会場:5階多目的室

□チケット:500円(当日券も同額)、大田文化の森にて11月19日10:00から発売(未就学児不可)

■和楽器とコーラスのハートフルコンサート

特集

2009「文化の森収穫祭」11月15日(日) ~みんなでワッショイ楽しもう~

11月15日に開催される2009「文化の森収穫祭」開催のお知らせです。

大好評の「文化の森シネマ館」 “皆さんが育ててください”

大好評の文化の森シネマ館のお知らせです。第三回には「ラストゲーム 最後の早慶戦」です。

読み応えのあるコラムが自慢

大田の顔キラリ

今回は六郷とんぼの会 会長吉田恒男さんです。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

学シリーズ 学校

新シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材します。今回は大田区立立新井第一小学校です。

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は李節子さんの活動を紹介します。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「文化プレーヤー事業部」です。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

日常ほとんど目にする事が無い和楽器と歌を、大田区で長年活動してきた邦楽ユニットとコーラスグループの演奏で、区民の方に楽しんでもらいたい

□開催日時:12月20日(日)14:00~16:00

□会場:大田文化の森ホール

□チケット:1,000円、大田文化の森にて10月20日10:00から発売

■0歳からおやこでコンサート

0歳からだれでも、一人でも、家族全員でも参加できる、楽しいヴァイオリンを中心としたコンサート

□開催日時:1月17日(日)14:00~16:00

□会場:大田文化の森ホール

□チケット:500円、大田文化の森にて11月18日10:00から発売(保護者の膝の上、1歳以下無料)。ベビーカーでの来場はご遠慮願います

■第5回 文化の森シネマ館

6回シリーズで国内外の名作映画にご招待。邦画「母べえ」を上映

□開催日時:1月23日(土)19:00~21:00

□会場:大田文化の森ホール □参加費:無料

□定員:250名(代表者の氏名・電話番号と同伴者名を明記。1枚4名まで可) □申込:1月12日必着

■「1/4の奇跡」上映会 & コクーン命のきずなコンサート

石川県の養護学校の教諭である山元加津子さんと子どもたちの交流を描いたドキュメンタリー映画とコクーンの歌で、幸せを感じるひと時を

□開催日時:2月21日(日)13:30~17:00

□会場:大田文化の森ホール

□チケット:1,000円、小中学生以下・障害者(同伴者含む)500円(当日券も同額)、大田文化の森にて12月21日10:00から発売(未就学児不可)

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

生活・心に役立つ講座 知的好奇心を満足させる魅力あるイベント

■簡単にだれでも描ける童話絵画

「今の想い」や「昔の思い出」を童話絵にしてみる。童話絵画と絵の基本的な講義と2枚の絵を制作

□開催日時:10月31日、11月7日・14日(土)14:00~16:00

□会場:3階美術室 □参加費:1,200円

□定員:抽選で15名(10歳以上) □申込:10月17日必着

■色で本当の自分を知る!色で幸せな未来を引き寄せる!

イギリス生まれのオーラソーマを使ったカラーセラピー講座

□開催日時:11月21・28日(土)14:00~16:00

□会場:4階第2集会室 □定員:抽選で18名

□参加費:2,000円 □申込:10月31日必着

■自宅で迎えるクリスマスのテーブルアレンジ

お客様を迎えるためのおしゃれなテーブルセッティングを学び、フラワーアレンジメントを制作

□開催日時:11月29日(日)13:30~16:00

□会場:4階第2集会室 □参加費:1,000円

□申込:11月14日必着

■『大江戸遊学』講座Ⅲ

江戸300年の町民文化・文芸、芸能、美術、生活文化を初期、中期、後期に渡り、江戸の世界に遊び、楽しく学ぶ

□開催日時:1月13・27日、2月17日、3月10・24日(水)14:00~15:30 □会場:4階第2集会室

□参加費:2,500円

□定員:抽選で30名(成人) □申込:12月2日必着

■越境の文学者アーサー・ビナード講演会

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は小池直道さんです。

第14回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森顔でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.33Web版

2009年7月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

～ことばと文化をめぐって～

日本語に魅了されて来日し、日本語での詩作、絵本の制作、翻訳などで多くの賞を受賞しているアメリカ出身の詩人が「ことばと文化をめぐって」をテーマに日本語で講演。自作の朗読も披露する

□開催日時:12月20日(日)14:00～16:30

□会場:4階第3・4集会室 □参加費:300円

□定員:抽選で60名(成人) □申込:12月7日必着

■自分力UP講座(第二期)～輝く自分になる～

自分がより美しく輝き、幸せになるために、内面・外面ともに磨きをかけていく楽しい講座の第2弾。アロマ、タロット、メイクセラピーなどの保育付きの楽しい講座

□開催日時:1月15日(金)、2月13日(土)、3月12日(金)10:00～12:00 □会場:4階第2集会室 □参加費:3,000円

□保育費:1回1,000円 □定員:抽選で20名 □申込:12月24日必着

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

体験してみよう! 日頃なかなか体験できない貴重なイベント

■わくわく科学の森～30倍の世界で遊ぼう～

小学生の親子で取り組む科学の実験講座。ナイトスコープという簡易顕微鏡で身近なものを見てみる。わかりやすい実験でこどもたちの科学への興味を引き出すシリーズ

□開催日時:10月24日(土)9:30～11:30 □会場:3階美術室

□定員:抽選で親子15組 □参加費:100円(1名)

□申込:10月10日必着

■自分の書に合う額縁を作ろう! & 年賀状作成

好きな文字を心込めた芸術作品に仕上げ、その作品に合う額縁を制作

□開催日時:10月24・31日、11月7日(土)13:30～16:00

□会場:第2集会室 □定員:抽選で20名 □参加費:中学生以上1,000円、小学生600円 □

申込:10月10日必着

■地球をリサーチ!～地球環境博士になろう～

環境問題を取り上げた小学生の親子対象の実験講座。映像と実験とで身近な地球環境を考える

□開催日時:11月21日(土)9:30～11:30 □会場:4階第2集会室 □定員:抽選で親子15

組 □参加費:100円(1名) □申込:11月9日必着

■ガーデニング講習会～クリスマス&お正月を楽しむ～

クリスマスとお正月に楽しめる寄せ植え

□開催日時:12月6日(日)14:00～16:00 □会場:3階工芸室

□参加費:2,000円 □定員:抽選で30名(小学生以上)

□申込:11月24日必着

日本そば打ち講習会

～そば打ちを通して日本の食文化を体験～

そば打ちを通して日本の食文化を体験できる講座

□開催日時:12月13日(日)10:00～14:00 □会場:3階調理室

□参加費:1,000円 □定員:抽選で30名(小学生以上)

□申込:11月24日必着

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。



おおた文化の森

おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ?何をやっているの?

Q1. なんのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化活動支援のための中心施設です。大田区政の基本方針となっている長期基本計画「おおたプラン2015」にはこう書かれています。
『大田文化の森は区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営にあたっては、地域の実情に合わせた区民や団体による自主運営など多様な方式を積極的に取り入れ、より利用しやすく、親しみもてる施設にします。』

Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m2)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、①任意登録の文化プレーヤーによって実施する「実行委員会企画」と、②区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募企画」、③「運営協議会の自主企画」の3種類があります。
施設管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

Q4. どんな利用ができるの?

●企画の実施

- 1.文化プレーヤーに登録して実行委員会または文化プレーヤー事業部に参画する、2.「公募による事業」に応募する
- 3.運営協議会が行う自主事業に参画する。

●ボランティアとして参画

文化プレーヤーに登録して希望のボランティア活動をする。

●貸館を利用する

[うぐいすネット\(コンピュータを活用した登録制の申込システム\)](#)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設窓口で申込む。(詳しくは利用案内をご覧ください。)



ちょっとここでコーヒーブレイク

飲み物・軽食をご用意して皆様のご来店をお待ちしています。
営業時間 10:00~17:00
定休日 隔週月曜・全館休館日

特集

2009「文化の森収穫祭」11月15日(日) ～みんなでワッショイ楽しもう～

11月15日に開催される2009「文化の森収穫祭」開催のお知らせです。

大好評の「文化の森シネマ館」 “皆さんが育ててください”

大好評の文化の森シネマ館のお知らせです。第三回は「ラストゲーム 最後の早慶戦」です。

読み応えのあるコラムが自慢



今回は六郷とんぼの会 会長吉田恒男さんです。



日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



新シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材します。今回は大田区立立新井第一小学校です。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は李節子さんの活動を紹介します。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「文化プレーヤー事業部」です。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

大田区役所 大田文化の森運営...

日本, 〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

保存

[拡大地図を表示](#)



[Googleマップで大きな地図を見る](#)



404. That's an error.

The requested URL /maps/sv was not found on this server. That's all

[Googleマップで大きな地図を見る](#)

バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

■東急池上線池上駅より

東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車

■JR大森駅(西口)より

東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車

■JR蒲田駅(西口)

東急バス大井駅行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先

■大田文化の森運営協議会事務局

〒143-0024 大田区中央2-10-1

電話: 03-3772-0770/FAX: 03-3772-0704

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は小池直道さんです。

第14回 **フォレストメイツ** チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報
文化の森側でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.33Web版

2009年7月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森



F&F 編集後記

◆46年ぶりに沸いた天体ショー「皆既日食」も悪天候にたたられた所も多かったようですが、船に乗って観測した人たちは、神秘的な風景をつくり出していくその不思議さに感動したようです。次は26年後の2035年9月2日です。皆さんお楽しみに。

◆「学校シリーズ」で入新井第一小学校を訪問。校長室には初代校長より現在までの写真がずらっと飾られていました。明治8年、畑の中に出来上がった校舎があり、134年の伝統を引き継いで、未来の子どもの成長を見守る姿が印象的でした。

運営委員 小川 滋也

◆神の怒りか地球の悲鳴か、昨今まことに天候不順です。日本の心地よきリズムであった春夏秋冬も乱れています。加えて身の回りの社会も殺伐としています。格差は当然だ、自己責任だと、声だかに叫ぶ政治家や学者もいます。ただし他者に対して同情と共感と優しさを持たない社会は人間社会と言えるでしょうか。

◆誰かの著名な言葉ですが、「強くなければ生きられない、優しくなければ生きる資格がない」は至言です。引き籠って慨嘆しているよりも、大声で喚んでいるよりも、ささやかでも自分のできることで、やってみたいことで、参加する場所が身近な文化の森の活動です。そこは、自分と他人を思いやり心温まりくつろげる居場所かもしれません。

◆時は秋、文化の森の行事は目白押しです。情報誌を通じて文化の森の値打ちを新しく発見し、見直すきっかけを提示したいと思っています。

運営委員(編集長)福野 幸雄

過去の編集後記はバックナンバーからご覧下さい。

特集

2009「文化の森収穫祭」11月15日(日) ～みんなでワッショイ楽しもう～

11月15日に開催される2009「文化の森収穫祭」開催のお知らせです。

大好評の「文化の森シネマ館」 “皆さんが育ててください”

大好評の文化の森シネマ館のお知らせです。第三回は「ラストゲーム 最後の早慶戦」です。

読み応えのあるコラムが自慢



今回は六郷とんぼの会 会長吉田恒男さんです。



日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



新シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校取材します。今回は大田区立入新井第一小学校です。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は李節子さんの活動を紹介します。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「文化プレーヤー事業部」です。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は小池直道さんです。

第14回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 旬でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.33Web版

2009年7月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design：Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。